

審議会会議録

審議会等の名称	第2回 瑞穂市新庁舎建設検討委員会
開催日時	令和4年11月25日(金曜日) 午後6時00分から午後8時00分
開催場所	瑞穂市役所 穂積庁舎3階 第1会議室
議題	将来に向けた新庁舎の在り方について
出席委員 欠席委員	<p>出席委員 10名 清水隆宏会長、鏡圭佑副会長、塚本明日香委員、 吉田敏之委員、坂本正雄委員、加納雅弘委員 林善太郎委員、辻正益委員、赤尾達也委員、 林亜紀子委員</p> <p>欠席委員 長尾アツ子委員、清水由光委員</p>
公開・非公開 の 区分 (非公開理由)	公 開 ・ 非 公 開
傍聴人数	1人
審議の概要	<p>開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 瑞穂市審議会等の設置、運営等に関する要綱第11条により、公開することとし、傍聴希望者1名の入室を許可した。 ・ 加納委員の自己紹介。 ・ 委員総数12名に対し過半数を超える10名の出席があり、瑞穂市附属機関設置条例第8条第1項に基づき会議が成立していることを宣言した。 <p>議事(1)「将来に向けた新庁舎の在り方について」</p> <p>【会長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議事1の将来に向けた新庁舎の在り方について、事務局に説明を求めます。

【事務局】

- ・配布説明資料を用いて、説明を行う。

(A 委員)

- ・複数の施設を1つに統合した場合、新庁舎そのものがかなりの拠点性をもつと考える。基本構想の評価項目である拠点性の高い場所に庁舎を統合して一つの大きな拠点とするのか、若しくは新庁舎という新たな拠点を別の場所に設け、他の拠点とアクセスを考えるのか。その上で新庁舎の役割を考えた方が建設場所の選定の際に話がすっきりするのではないかと思う。

(B 委員)

- ・機能的な部分を考える上で、予算はどのくらいで検討しているか。ある程度の予算に合わせて機能を検討していくのか、機能を検討した後に、予算に合うように機能を削っていくのかどちらか。

(事務局)

- ・予算については次回以降とし、まずは機能について議論して頂きたいです。

(B 委員)

- ・建設場所によって必要な機能は変わってくると思う。例えば、駅の近くであれば保育等のサービスを位置付け、駅利用者が気軽に子どもを預けられる機能を持たすなど、場所によって機能が変わってくると思う。子育て世代や高齢者に対しては配慮してもらいたい。また、駐車場の必要性はかなり高いので、駐車エリアを確保しなくてはならないので、場所的な制限や土地の面積的な条件とかが出てくると思う。

(会長)

- ・先々の事を考えると現実的なことを落とし込んでいかなければならない。一方で、統合した庁舎をどこに立地させるかは、これまでの候補や提案に捉われず広く考えて頂きたい。その為には、どの程度の面積や費用がいるのか今後検討して頂きたい。

(C 委員)

- ・施設の分布状況により、必要となる機能や施設が変わってくるのではないかと考える。また、必要な機能を決めてから場所を考えるのか、場所を決めてから機能を考えるのかどちらが良いかわからないが、場所によって必要な機能や施設も変わってくるのではないかと考える。

(B 委員)

- ・防災に対応するというのは重要ポイントであるし、場所的には物流などから交通網が重要になってくると考える。今から新たな道路を新設するとなると予算がかかるので、交通網も意識しなくてはいけない。また、防災拠点として、災害時には病人などの受け入れが出来る施設に展開できるといいと思う。

(D 委員)

- ・基本構想で3箇所の候補地があるが、非常に納得のいく3箇所であり、利便性の観点から見ると、現在の穂積庁舎の位置が、県庁にも近いのでいいのではないかと思う。

(C 委員)

- ・基本構想の穂積駅周辺地区に、人口重心の記述があり、若い世代が多い、子育てしやすい、地価が安いというのかもしれないが、現在も市の人口が増えているので、人口重心に配慮してはどうかと考える。現在の人口重心はどこになるか。

(事務局)

- ・現在の人口重心は旭化成の工場の北あたりで、市街化区域を中心に人口が伸びています。

(B 委員)

- ・狭い市で移動時間もあまり変わらないので、人口重心に配慮する必然性はあまり感じない。

(E 委員)

- ・子どもたちの憩いの場にもなってほしいので、勉強できる場所やいろいろな機能を付けるのであれば真ん中に入った方が、徒歩や自転車で行けるのでいいと思う。また、総合センターの利用にあたっては駐車場が少ないのが問題となっているので、穂積庁舎の場所を駐車場に整備すれば、総合センターの利便性があがると考える。

(F 委員)

- ・シンボリックな庁舎は中心にある方がいいと思うし、利便性も向上すると考える。

(会長)

- ・この場所ならこういったいいことがあるのでこの街の発展としてこう伸ばしていける、逆にここはこういった弱点があるのでどうしたら補えるかなど、場所ごとに考えていく意見でもいいのでいかがか。

(G 委員)

- ・人が動く、活気のある所に新庁舎を作るべきと考える。現位置だと、市街化されているので、新たに発展させるのが難しいと考え、国道21号線と旧国道21号線との間、朝日大学の南が適地であると考えている。そこであれば、産官学の連携も容易に図れ、開発できる土地もあるので、未来を考えた時に、シンボリックな新庁舎を立地させれば周辺の開発が爆発的に進むことが期待できるのではないかと考える。

(B 委員)

- ・市の庁舎は住民のための施設で、交通の便は重要であるが、観光地のように外部から来て活性化させるという意味であるなら、庁舎とは別の施設で活性化してもらったほうがいいのではないかと思う。

(E 委員)

- ・新庁舎は中心に建設し、穂積庁舎の場所は総合センターでの利用、巢南庁舎は公民館機能での利用とし、分散した3つの拠点ということで、防災の際もそれぞれの場所で役割を果たしていけばいいと思う。

(D 委員)

- ・穂積駅周辺整備事業と並行して新庁舎建設を進めてはどうかと思う。

(C 委員)

- ・穂積駅は市民だけでなく近隣市町の方も多く利用するため、朝夕は駅方面へ向かう渋滞がすごく、利用を控えようと思うことがある。働くお母さんは駅に近い方が子どもを預けて便利というのものもあるかもしれないが、車で移動するのであれば、駅に近くなくてもいいのではないかと考える。また、子育て世代や子どもたちの意見が聞きたいと感じている。

(H 委員)

- ・先日、市長室の前に幼稚園児が集まっているのを見たときに、これが市役所だと感じた。地域の人が無気なく足を運べる、行けば誰かと話せる、というシステムが大切であり、場所の遠い近いはあまり気にならないのではないかと思う。どこに作るかよりもどんな市役所であるかが大切だと思う。ごく自然に生きられる・暮らせるまちづくりが出来るといいと思う。

(B 委員)

- ・地元の中でもふれあいサロンなど公民館などで開催しているが、出てこない人はなかなか出てこないなので、来やすいところに建設しても来るとは限らない。そこをどうやって活かして、来てもらうかは考えていかなければならないと思う。

(E 委員)

- ・人に来てもらうには、フリースペースや公園、カフェがあれば市民の憩いの場になると思うが、かなり大きなスペースが必要になる。

(I 委員)

- ・近隣の市役所にはなるが、1階にピアノがあったり、夜までやっている飲食店があったり、用事がなくても居場所として利用されていると思う。

(I 委員)

- ・現状、市の職員の通勤手段は何か。車が多いなら職員専用の駐車スペースも必要となるが、現状はどのような状況か。

(事務局)

- ・自動車通勤が8割程度、電車通勤は20名程度。現在は第2駐車場と第4駐車場を職員駐車場として利用しています。

(C 委員)

- ・職員の8割というのは何名ぐらいか。

(事務局)

- ・穂積庁舎110名程度、巢南庁舎80名程度と会計年度任用職員が利用しています。

(事務局)

- ・職員は第2・第4の駐車場を利用していますが、総合センターなどで行事があ

る際には、駐車場が不足しますので、職員の車を図書館の駐車場へ移動して対応しています。

(E 委員)

- ・公園、フリースペース、図書館があると非常に理想的な庁舎になると思う。

(C 委員)

- ・Wi-Fi の環境があったり、フリースペース、図書館の機能のあるといいと思う。また、「食べる」ところがあると人が集まってくると感じる。

(A 委員)

- ・防災機能については、最重要であると思う。

(B 委員)

- ・浸水対策として、新庁舎の1階は全面駐車場にするといいと思う。また、喫茶店などのモーニング的な機能を庁舎に持たせて、息抜きしながらというスペースがあるといいと思うし、交流も増えると思う。

(I 委員)

- ・日中は高齢者たちが集まって交流するスペース、夜ならこども食堂とかもいいと思う。

(G 委員)

- ・水害の事はよく考える必要があり、駐車場については、多段構造ではなく2階建ての構造とし、1階は移動型キッチンカーやショッピングカーなどで入れ替えをしながら利用し、2階はいざという時の避難スペースがいいと思う。民間へのアウトソーシングも進んでいるし、ネット社会となりオンラインで対応可能な事務もあるため、市役所へ行く人は減る可能性がある。市民サービスの低下という問題はあるが、「箱モノ」サイズに関係してくると考える。

(F 委員)

- ・市民センターと庁舎が近いことの利便性は何か。

(I 委員)

- ・機能面ではあまり近くにある必要はないと感じるが、1番は駐車場を共有できる点だと思う。

(B 委員)

- ・駐車場が離れた位置にあると、違法駐車や路上駐車などが増えて近隣住民に迷惑をかけることになるので、駐車場はすぐそばに必要であると思う。

(J 委員)

- ・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、窓口事務におけるデジタル化は進んできたと感じている。しかし、法律で規定されているものもあり全てデジタルで行うというわけにはいかない部分もあると思う。

(D 委員)

- ・警察機能、消防機能、広域連合など、新庁舎との体制はどう考えているか。

(事務局)

- ・ 消防署は現行のままの2箇所で継続し、警察署や広域連合についても庁舎に入れることは考えていません。

(事務局)

- ・ 先ほどの庁舎と市民センターが隣接している考え方として、庁舎は老若男女が自然と集まる場所であり、市民センターはイベントや行事を行い親しみやすく人が集まる場所です。そういった2つ大きな磁力を将来のまちづくりにどう活かしていくか、普段使いされる場所を防災拠点として位置付けることで、いざという時に自然と足を運び、集まることが出来るということがあります。

(D委員)

- ・ 数百人ほどの集まりがあったときに、総合センターでは大きすぎて使いづらい。市民センターだと老朽化しているし、駐車場も離れているので使いづらいので、新たに建設してもらえるといいと思う。

(J委員)

- ・ 市役所にまず求められるのは、多世代が集まれることだと思う。勉強する場や広場などがあれば、子どもが集まり、親や祖父母も集まるし、キッチンカーや図書館機能、モーニングなどもあるといいと思う。キッチンカフェなどでアウトソーシングが出来れば費用も抑えて出来るのではないかとも思う。また、役所においては削るという行政改革が行われていると思うが、行政サービスを維持する観点から、市役所とNPOとかボランティア団体とも連携をしていき、繋がれるような機能も必要になってくると思う。

(I委員)

- ・ NPO やボランティア団体が使える部屋やスペースが新庁舎にあるといいと思う。

(B委員)

- ・ 公民館を統合した場合、既存施設の跡地活用はどうか。

(事務局)

- ・ 建設候補地の検討と併せて跡地利用についても議論していただきます。

(D委員)

- ・ 巢南公民館は残すのか。

(事務局)

- ・ 老朽化のため集約していきます。

【会長】

- ・ 皆様からの様々な意見については、事務局で整理していただき、次回の議論の資料としてまとめて下さい。本日の議事は終了とします。

閉 会

事務局
(担当課)

瑞穂市 総務部 財務情報課

TEL : 058-327-4131

FAX : 058-327-4103

e-mail : zaimu@city.mizuho.lg.jp